



# 令和4年度 事業報告書

## 経営理念

- みんなの参加と協働で、「しふく(至福)のふくし(福祉)」を実現します。
- 一人ひとりの思いを大切にした、寄り添えるサービスを届けます。
- みんながずっとこの町で暮らしていけるよう、お手伝いできる社協をめざします。
- みんなの未来のために、いつも前向きに歩む社協であり続けます。



社会福祉  
法 人 小山町社会福祉協議会

❖❖❖❖ 小山町社会福祉協議会は共同募金の助成団体です ❖❖❖❖



このマークが表記されている事業は、共同募金の助成を受けています

# 目 次

地域福祉活動計画中の基本視点・基本目標の順で記載

## I 事業実施状況報告

1 福祉のひとづくりの推進	
(1) 広報啓発活動の推進	1
(2) 福祉教育(共育)活動の推進	1
(3) ボランティアの輪を広げる活動の推進	2
(4) 住民参加の活動を支える	4
2 共生の地域づくりの推進	
(1) 相談支援体制の推進	6
(2) 生活困窮者自立促進支援事業の推進	9
(3) 資金貸付による経済的自立及び生活意欲の助長	11
(4) 権利擁護体制づくりの推進	12
3 福祉の基盤づくりの推進	
(1) 高齢者等への支援活動の推進	15
(2) サービスの提供力を高める	15
(3) 社会福祉法人等との連携による地域課題の解決の推進	17
(4) 社会福祉法人としての「地域における公益的な取組」の推進	18
(5) 法人組織の基盤を強める	20
(6) 安定した自主財源の確保	30
4 指定介護保険事業の経営	
(1) 居宅介護支援事業所の経営	31
(2) 訪問介護事業所の経営	32
5 指定障害福祉サービス事業の経営	
(1) 居宅介護事業の経営	33
(2) 就労継続支援B型事業の経営	33
6 その他	
(1) 行政関係機関による監査及び運営指導等の受検	34
(2) 各種団体等との共催・後援・協賛・運営・連携事業の展開	34
(3) 各種表彰候補者推薦事務の実施	34
(4) 各種研修会講師等としての役職員派遣の実施	35
(5) 県内外からの視察・研修の受け入れ	35
(6) 関係機関・団体との連携による提言活動の推進	35

## II 事業報告の付属明細書

令和4年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はない。

## 1 福祉のひとづくりの推進

### (1) 広報啓発活動の推進

#### ア 地域福祉活動情報紙「つながり」の発行

町民等に対し地域福祉に対する理解や関心をより深めてもらえるよう、本会事業の紹介、地域で展開されているさまざまな地域福祉活動等についての情報提供を行った。

[配布方法] 全戸配布(協力;小山町区長会)

号数	期日	発行部数
第33号	令和4年7月1日	各7,000部
第34号	令和4年10月1日	

#### イ 公式ホームページの管理運営及びSNSの活用による情報発信の促進

公式ホームページを管理運営し、定期的に情報を更新、地域福祉活動活動情報紙「つながり」と同様に本会活動を紹介、行事の案内、各種情報等を広く公開した。

#### ウ 年度版法人案内パンフレットの発行

経営理念、事業体制及び事業内容、組織及び組織運営等をまとめたパンフレットを発行し、各種事業等の実施機会を捉えて配布することにより、本会に対する理解促進を図った。

発行時期	令和4年7月15日
発行部数	7,500部

#### エ 2022小山町ふれあい広場の開催

地域福祉活動の必要性や現状の理解促進、ボランティア活動等についての意識高揚を図るための啓発活動として実施した。

期日	令和4年10月1日(土) ※ 活動紹介パネル展示期間;9月29日(木)~10月1日(土)		
会場	小山町総合文化会館		
来場者数	延700名		
参加団体数(予定)	23団体・施設		
参加予定団体説明会	令和4年7月7日(木)	小山町健康福祉会館	
実行委員会	第1回	令和4年8月9日(火)	
	第2回	令和4年9月6日(火)	

### (2) 福祉教育(共育)活動の推進

#### ア 福祉系大学や専門学校等ソーシャルワーク実習生の受け入れ

小山町及び近隣市町出身で社会福祉等の資格取得を目指している学生及び社会人等の現場実習を通じて、社会福祉理念の構築と実務経験のための実習生の受け入れを行った。

受入区分	社会福祉士相談援助実習		
受入体制	社会福祉士実習指導者養成研修修了者(社会福祉士4名)		
受入実績	学校名等	① 静岡福祉大学社会福祉学部4年 1名 ② 静岡福祉大学社会福祉学部2年 1名	
	受入期間	①令和4年8月8日(月)~9月7日(水) 計23日間 ②令和5年2月9日(木)~2月20日(月)計8日間	

## イ 地域福祉教育プログラム推進事業の実施

地域に生活するすべての人が、お互いにその存在を認め合い、支え合いながら「みんながしあわせ」と感じられる地域とするために、家庭、学校、地域において、行動する人を育む活動を行った。

小山町福祉教育担当者会議	期 日	令和4年5月17日(火)
	会 場	障害者支援施設インマヌエル
	出席者数	29名(学校・福祉施設関係者)

### (3) ボランティアの輪を広げる活動の推進

#### ア ボランティアセンターの運営

ボランティア活動が地域社会に定着するために、一部の限られた人たちだけが活動を行うのではなく、地域のさまざまな人たちが、気軽に、楽しく、日常的に活動に参加できるよう支援に努めた。

事業内容	(1) ボランティア活動や住民活動に関する情報提供及び相談・連絡調整 (2) ボランティアの登録やニーズの受付 (3) ボランティア活動保険やボランティア行事用保険の加入促進 (4) 民間福祉財団等による助成事業の案内・推薦 (5) 生活支援コーディネーターとの連携による人材発掘及び組織化支援
------	---

#### イ 第41回サマーショートボランティア活動計画の実施(静岡県ボランティア協会との共催)

夏休みを利用したボランティア活動体験プログラムであり、受入施設は高齢者施設、障がい者施設、児童施設などの福祉施設や社会教育施設である。施設での活動を通じて、参加者が施設利用者や職員のこと、ボランティアや福祉について理解を深める機会となっている。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、受入先での活動に参加できなかった人に対し、代替活動が行われた。

[静岡県ボランティア協会 速報値(小山町内の受入先及び町内在住者のみ)]

活動期間	令和4年8月1日(月)～8月30日(火)
受入施設数	町内3か所／県内173か所
参加者数	町内10名(高校生7、中学生3)／県内606名

#### ウ 災害ボランティアのネットワークづくり

予想される東海地震や神奈川県西部地震や局地的な風水雪害などの自然災害に備え、被災地域の復旧・復興に不可欠な「災害ボランティアセンター」を中心としたボランティア活動が効果的かつ円滑に行われるよう、平常時から町行政を含めた県内外の関係機関や団体との連携を強化し、災害ボランティアにかかる機能的な体制づくりのための取り組みを行った。

取組内容	(1) 災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練の実施や必要資機材の整備 (2) 災害ボランティア関連研修事業の開催 (3) 平常時における関係機関との連携強化 (4) 災害ボランティア活動に関する意識高揚を目的とした啓発活動の実施 (5) 県内外の機関や団体と連携した訓練への関係者の参加等 (6) 本会のBCP策定に伴う災害ボランティアセンター運営マニュアル見直し
------	--

#### ア) 県内外で発生した大規模災害に係る支援活動の実施

静岡県内外で発生した大規模災害に係る支援のため、職員派遣等を行った。

令和4年台風8号災害に係る災害ボランティアセンター運営支援活動	
派遣概要	松崎町(松崎町社会福祉協議会)
派遣期間・日数	令和4年8月18日(木)～19日(金) 計2日間
派遣職員	松田直樹(統括地域福祉プロデューサー)

令和4年台風15号災害に係る災害ボランティアセンター運営支援活動	
派遣概要	静岡市(静岡市社会福祉協議会)
派遣期間・日数	① 令和4年10月1日(土)～6日(木) 6日間 ② 令和4年11月2日(水)～4日(金) 3日間 ③ 令和4年11月11日(金)～13日(日) 3日間 ④ 令和4年11月21日(月)～22日(火) 2日間 計14日間
派遣職員	① 松田直樹(統括地域福祉プロデューサー) ② 松田直樹(統括地域福祉プロデューサー) ③ 関 智久(地域福祉プロデューサー) ④ 五十井真琴(日常生活自立支援事業専門員)

- イ) 大規模災害発生時における災害ボランティアセンター運営に係る協力体制の構築  
行政や社会福祉法人及び企業との間において、平時及び災害発生時における災害ボランティアセンターの運営に係る協力体制を構築するための協定を締結した。

機関・法人名	協定名
小山町	災害ボランティアセンターの設置運営等に関する協定
社会福祉法人婦人の園	災害ボランティア活動用資機材整備に関する覚書
太陽建機レンタル株式会社	災害時におけるレンタル資機材の提供に関する協定

## 工 災害対応研修会の開催



多様化する大規模災害の場面において、社会福祉協議会やボランティア団体等が被災者支援の一翼を担っているが、市町災害ボランティアセンターで抱える課題、避難所運営、外部団体の支援のあり方を含め、町民や関係機関・団体、福祉施設・事業所等とともに、平時における連携強化を図ることを目的に開催した。

期日	令和5年1月28日(土)
会場	ハイブリッド型開催(会場:小山町健康福祉会館&オンライン)
内容	「被災地における支援活動等」
講師等	李 仁鉄氏(にいがた災害ボランティアネットワーク理事長) 原 盛輝氏(熱海市社会福祉協議会 伊豆山復興ボランティアセンター長) 中西弘幸氏(沼津市社会福祉協議会 介護福祉課長)
参加人数	19名(市町社協9、施設法人3、NPO・ボランティア4、その他3)

## (4) 住民参加の活動を支える

### ア 福祉関係団体の事務受託

福祉関係団体の活動基盤強化のため、必要な事務受託を行うとともに、その自主性を尊重し、自立へ向けての支援を行った。(書面による委託契約の締結あり)

[団体別事務受託状況]

No.	団体名	経理事務		代表者印管理		預金通帳管理	
		団体	本会	団体	本会	団体	本会
1	小山町共同募金委員会		○		○		○
2	小山町シニアクラブ連合会		○		○		○
3	小山町手をつなぐ育成会	○		○		○	
4	小山町赤十字奉仕団	○			○	○	
5	小山町母子寡婦福祉会	○			○	○	
6	小山町身体障害者福祉会	○			○	○	
7	小山町遺族会	○			○	○	
8	小山町忠靈奉賛会		○		○		○

### イ 地域福祉活動事業費助成事業の実施



赤い羽根共同募金の配分金を財源とし、自主的に地域福祉活動を実践しようとする団体やグループ及び小規模施設からの申請に基づき事業費助成を行った。

助成団体数	5団体
助成決定額	248,000円

### ウ 小山町民生委員児童委員協議会との連携による地域福祉活動の推進

地域福祉活動の充実強化のため、小山町民生委員児童委員協議会との連携協働による地域福祉活動の推進を図った。

連携内容	(1) 定例会への出席 (2) 共同募金運動の連携 (3) 福祉総合相談事業の連携 (4) 地区会や部会との連携
------	---

### エ 小山町区長会との連携による地域福祉活動の推進

地域福祉活動の充実強化のため、小山町区長会との連携協働による地域福祉活動の推進を図った。

連携内容	(1) 区長会への出席 (2) 会員世帯等に対する機関紙等の配布 (3) ふれあい茶論等の地域福祉活動に対する連携 (4) 共同募金(赤い羽根・歳末たすけあい)への協力
------	---

### オ 共同募金運動との連携

静岡県共同募金会及び小山町共同募金委員会と協働し、共同募金運動の促進を図るとともに、助成金の有効活用に努めた。

[募金運動期間]

赤い羽根募金	令和4年10月1日～12月31日
歳末たすけあい募金	令和4年12月1日～31日

## 力 嵯峨たすけあい募金配分事業の実施

新たな年を迎える年末の時期に、支援を必要とする人たちが安心して暮らすことができるよう支援するため、激励金の贈呈を行った。当該世帯への見舞金の贈呈にあたっては、対象世帯から申請方式とし、生活状況を十分把握したうえで、本人の意思を確認しながら、民生委員児童委員協議会の協力を得ながら実施した。福祉関係当事者団体や小規模施設等が実施する事業に対し事業費の助成を行った。

なお、激励金品の支給や事業費助成について、適正かつ効果的な配分を行うため、歳末たすけあい事業配分委員会を設置した。

### ア) 嵯峨たすけあい事業配分委員会の開催

[期 日] 令和4年12月13日(火)

[会 場] 小山町健康福祉会館

[出席者] 委員8名(本会1名・民生委員児童委員6名・職員1名)

### イ) 世帯激励金等申請受理件数

34世帯53名

### ウ) 世帯激励金の配分実績

配分金額	計590,000円
配分世帯数	33世帯・50名

### エ) 地域福祉活動事業費助成実績

No.	団体名等	金額
1	小山町母子寡婦福祉会	
2	小山町手をつなぐ育成会	
3	特定非営利活動法人おでかけクラブ	
4	ふれあい茶論運営団体	
5	放課後児童クラブ	
6	ワーカーズコープ	
		計356,400円

## キ 「おやま健康マイレージ事業」への協賛

小山町が町民の健康づくりを促進するために実施している「おやま健康マイレージ事業」の協賛事業所として、町民の健康意識向上等に積極的に貢献・寄与した。

協賛内容	(1) ハッピーチケット利用施設としての登録 (2) スマイル賞協賛品の提供 「町民食堂ごちそうさん＆カフェ・ポム」共通利用券 2,200円相当×4本
------	--

## (1) 相談支援体制の推進

## ア 福祉総合相談所の運営

町民が抱える生活課題の解決に向けて、各種相談体制を整備するとともに、関係相談機関と連携し対応した。

[開設日数] 107日

[相談受理件数] 54件

(1) 介護相談	開 設 日	毎週火曜日	
	相 談 員	介護支援専門員	
	開 設 日 数	48日	
	相 談 受 理 件 数	18件	
(2) 法律相談	開 設 日	指定の水曜日(毎月1回)	
	相 談 員	弁護士	
	開 設 日 数	12日	
	相 談 受 理 件 数	33件	
(3) 心配ごと相談	開 設 日	毎週木曜日	
	相 談 員	民生委員児童委員・主任児童委員 人権擁護委員	
	開 設 日 数	41日	
	相 談 受 理 件 数	3件	
(4) 出張 心配ごと相談	期 日	会 場	相談受理件数
	① 令和4年5月26日(木)	用沢公民館	0件
	② 令和4年7月28日(木)	須走コミセン	0件
	③ 令和4年9月29日(木)	用沢公民館	0件
	④ 令和4年11月24日(木)	須走コミセン	0件
	⑤ 令和5年1月26日(木)	用沢コミセン	0件
	⑥ 令和5年3月23日(木)	須走コミセン	0件

#### イ 包括的支援体制構築事業の実施【小山町受託事業】

相談支援包括化推進員を配置し、福祉的ニーズの多様化・複雑化を踏まえ、制度の狭間の問題や複合的な課題等を当事者のみの問題ではなく家族全体の問題として捉え、高齢者、障がい者、児童福祉等の区別なく、生活困窮、ひきこもり、住まい、社会参加・就労等様々な視点から、多機関の協働による包括的な相談支援体制を構築するため下記の取り組みを行った。

##### [取組内容]

- ・多職種連携の枠組みの構築
- ・地域住民が自ら問題を把握し、解決を図る環境整備
- ・地域住民への研修等

##### [取組実績]

地域生活課題に関する相談件数等(含 相談に対する情報収集)			
実 件 数	88件		
来談者数	85名		
相談種別	生活困窮	37	虐待
	介護	13	医療
	ひきこもり	2	育成
	就労	25	障がい
		その他	22
		13	
来談者等に対する支援件数及び内容			
実 件 数	72件		
改善件数	40件		
主たる 支援内容	相談のみ	30	介護保険事業部門対応
	生活支援相談C対応	14	地域包括支援Cとの連携
	生活福祉資金対応	10	相談継続
	権利擁護支援C対応	10	町健康増進課との連携
	ネットワーク会議との連携	1	その他
	生活保護担当課との連携	0	
ネットワーク会議・個別ケース会議開催件数			
ネットワーク会議調整件数	12件		
個別ケース会議開催件数	11件		

## ウ 生活支援体制整備事業の実施【小山町受託事業】

生活支援コーディネーターを配置し、町・地域包括支援センターと協働で、地域の生活課題やニーズを把握し、地域の中で解決できるよう、仕組みづくりの推進と環境整備に取り組んだ。

### [取組内容]

- ・居場所やふれあい茶論並びに体操教室等における生活課題の聞き取りを通じた地域住民や関係機関との問題共有
- ・地域生活課題に関する相談を包括的に受け止め、解決に結びつける体制づくり
- ・地域の団体等と連携した地域での支えあいや見守り等の体制整備を支援
- ・新型コロナウイルス感染対策に関する相談・助言(開催の可否、訪問活動等)他

### [取組実績]

生活支援コーディネーターの配置		
配置人数	2名(常勤・兼務)	
生活支援体制整備事業推進連絡会への出席		
回	期日	出席者数
第1回	令和4年4月19日(火)	1名
第2回	令和4年5月17日(火)	1名
第3回	令和4年6月21日(火)	1名
第4回	令和4年7月19日(火)	1名
第5回	令和4年9月20日(火)	2名
第6回	令和4年10月19日(水)	2名
第7回	令和4年11月24日(木)	2名
第8回	令和5年2月21日(火)	2名
関係会議への出席		
会議名	期日	出席者数
地域ケア会議	令和4年6月16日(木)	1名
静岡県生活支援体制整備事業情報交換会	令和4年10月27日(木)	1名
第1層協議会会議	令和5年3月6日(月)	3名
本会の実施事業を通じた体制整備や調査研究等		
(1) ふれあい茶論		
(2) 社会福祉法人との連携による「県境エリア対象・移動販売事業」		
(3) 社会福祉法人等との連携による地域課題の解決に向けた取組		
(4) 住民参加型福祉サービス“オンライン・ユー♪”		
(5) 高齢者向け配食サービス“おまち堂”		
(6) その他		

## (2) 生活困窮者自立促進支援事業の推進

### ア 静岡県自立相談支援事業の実施 【静岡県受託事業】

#### ア) 事業概要

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援等の体制を構築することにより、生活困窮者の自立の促進を図った。

#### イ) 事業運営方式

ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアムの構成法人による連携協働

#### ウ) 構成法人

・県内12町社会福祉協議会 　・静岡県社会福祉協議会(代表法人)

・特定非営利活動法人青少年就労支援ネットワーク静岡

#### エ) 業務内容

生活支援・相談センターを設置するとともに、相談支援員(2名)を配置し、総合相談受付、緊急対応、他機関へのつなぎ、アセスメント、プラン作成、モニタリング、評価、支援調整会議、関係機関との調整、支援者開発、ニーズ掘り起し等の業務を行った。

#### オ) 小山町支援調整会議の開催

小山町支援調整会議の開催状況

回	期　　日	出席者数
第1回	令和4年4月8日(金)	7機関・15名
第2回	令和4年5月13日(金)	7機関・16名
第3回	令和4年6月10日(金)	6機関・12名
第4回	令和4年7月8日(金)	6機関・13名
第5回	令和4年8月5日(金)	6機関・10名
第6回	令和4年9月9日(金)	6機関・13名
第7回	令和4年10月14日(金)	7機関・17名
第8回	令和4年11月11日(金)	7機関・12名
第9回	令和4年12月9日(金)	7機関・12名
第10回	令和5年1月13日(金)	6機関・11名
第11回	令和5年3月17日(金)	7機関・18名

#### カ) 生活困窮者自立支援制度に関する支援実績

新規相談受付件数(総数)	27
プラン策定前支援終了件数(総数)	19
支援決定・確認件数	26
就労支援対象者数(プラン期間中の一般就労を目的としている)	15
法に基づく事業等利用件数	
住宅確保給付金	6
一時生活支援事業	0
家計相談支援事業	12
就労準備支援事業	0
就労訓練事業	0
自立相談支援事業による就労支援	11
その他	
生活福祉資金等による貸付	4
生活保護受給者等就労自立促進事業	0
評価実施件数(含 再プラン)	33

## イ ふじのくに型学びの心育成支援事業の実施【静岡県受託事業】

### ア) 事業概要

#### 【子どもの学習支援・生活支援事業】

生活保護受給世帯及び生活困窮世帯の子どもを対象に学習の場を提供し、学習支援を行い、生活困窮世帯の子どもの高等学校への進学を促進することにより、就職率を向上し、生活困窮世帯等の子どもの自立促進を図った。さらに、高校生世代を対象とした多様な進路の選択に向けた助言や情報提供を行うことにより、若年層における就労意欲の向上を図った。

### イ) 実施日数

区分		期間	計
夏季	集合型	令和4年7月25日(月)～8月24日(水)	14日
冬季		令和4年12月26日(月)～27日(火)	2日

### ウ) 学習支援教室(おやま学習アシスト教室)の設置場所

小山町健康福祉会館

### エ) 児童・生徒の無料送迎サービス(希望世帯のみ)

本会及び社会福祉法人寿康会の業務用車両による

### オ) 教育支援員登録者数

8名(男性4名・女性4名)

### カ) 利用実績

(単位:名)

区分	実人数	延人数		
		計	内訳	
			夏季	冬季
小学生	11	90	70	20
中学生	1	5	5	0
計	12	95	75	20

## ウ 生活困窮世帯向け緊急食糧支援事業の連携実施

### ア) フードドライブの連携実施

まだ安全に食べられるにもかかわらず処分されてしまう食料を、企業や個人から寄贈を受け、生活困窮者等、支援を必要としている人に適切に配るフードバンク事業やフードドライブ事業を地域の仕組みとして確立させ、相互扶助の社会づくりをめざすことを目的として、NPO法人フードバンクふじのくに等と本会が事業連携し実施した。

事 業 名	生活困窮世帯向けフードバンク事業				
受 付 期 間	夏季	令和4年8月1日(月)～31日(水)			
	冬季	令和5年1月4日(水)～31日(火)			
寄贈品重量	夏季	298.19kg	年間 総重量	343.9kg	
	冬季	45.70kg			
活 用 実 績	延15世帯・15名分				
	フードバンクふじのくに		延11世帯・11名分		
	本会 独自支援事業		延4世帯・4名分		

- イ) 「小山町みんなの食堂」お弁当配布事業の連携実施
- 赤い筆記用具の絵
- 生活困窮世帯等の子どもを主な対象とした食事の無償提供を通じて、関係団体との新たなネットワークの構築と、生活ニーズの把握、きめの細かな支援につなぐことができた。
- [連携団体] 御殿場・小山フードバンク協議会 他
- [協力内容] 問合せ先窓口及び運営補助 他
- [会 場] 小山町健康福祉会館
- [開催実績]

第 1 回	令和4年8月6日(土)
第 2 回	令和4年8月20日(土)
第 3 回	令和4年12月18日(日)
第 4 回	令和5年1月21日(土)
第 5 回	令和5年3月18日(土)

### (3) 資金貸付による経済的自立及び生活意欲の助長

#### ア 小山町生活福祉資金貸付事業の実施

本会貸付要綱に基づき、低所得世帯に対し、資金の貸し付けと必要な援助指導を行うことにより、経済的自立と安定した生活のための支援を行った。

[資金種類別の新規貸付実績]

計	2件	44,549円	前年度比 2件減
日常生活費	2	44,549円	前年度比 2件減
就学費	0	0円	前年度比 増減なし
家屋補修費	0	0円	前年度比 増減なし

#### イ 静岡県生活福祉資金貸付事業の実施 【静岡県社会福祉協議会受託事業】

静岡県社会福祉協議会から事務の一部を受託し、低所得世帯、障害者世帯または高齢者世帯に対し、資金の貸し付けと必要な援助指導を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長並びに在宅福祉、社会参加の促進を図った。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少に伴う個人向けの「緊急小口資金等特例貸付」及び「総合支援資金特例貸付」を令和2年3月25日から引き続き実施した。(令和4年9月30日 受付終了)

##### ア) 受託事務の内容

- ・資金貸付の広報業務
- ・借入申込者に対する支援業務
- ・借受人に対する支援業務
- ・関係機関との連携・連絡・調整等業務
- ・資金貸付及び償還に関する書類の交付、受付・検討、県社協への送付業務
- ・償還に関する協力業務
- ・借入申込者及び借受人の属する世帯の調査に関する業務 他

##### イ) 資金種類別の新規貸付実績

計	4件	700,000円	前年度比 23件減
総合支援資金	0	0円	前年度比 12件減
緊急小口資金	4	700,000円	前年度比 11件減

#### (4) 権利擁護体制づくりの推進

##### ア 小山町権利擁護支援センター事業の実施【小山町受託事業】

認知症や知的障がい、精神障がいなどの理由により判断能力が不十分であっても、本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために、財産や権利を擁護する体制をつくり、成年後見制度の総合的な推進を図った。

###### ア) 業務内容

- ・成年後見制度に関する相談対応
- ・成年後見制度に関する普及啓発
- ・市民後見人養成等に関する業務
- ・市民後見人活動支援に関する業務
- ・関係機関との連携及び調整 他

###### イ) 業務実績

項目	件数等
権利擁護及び成年後見制度に関する相談対応件数	22件
成年後見制度利用支援	63件
権利擁護及び成年後見制度に関する広報及び啓発	
● オレンジカフェにおける権利擁護の概要説明 令和4年4月21日(木)	参加者数;25名
● 地域ケア会議における啓発講演会等の開催案内 令和4年5月19日(木)	参加者数;25名
● おやま権利擁護通信の発行 第10号;令和4年7月15日(金) 第11号;令和4年11月15日(火) 第12号;令和5年2月1日(水)	発行部数;7,000部
● 広報おやま(8月1日号)への記事掲載 市民後見人養成講座・同説明会の開催案内	—
● 市民後見人養成講座説明会案内チラシの配布 令和4年8月15日(月) 班回覧	発行部数;480部
● 【御殿場会場】成年後見制度啓発講演会の開催 期日 令和4年6月29日(水)	参加者数;120名
● 【小山会場】成年後見制度啓発講演会の開催 期日 令和4年7月5日(火)	参加者数;80名
● 第1回 独自講演会(兼フォローアップ研修)の開催 期日 令和5年2月3日(金)	参加者数;18名
● 第2回 独自講演会(兼フォローアップ研修)の開催 期日 令和5年2月21日(火)	参加者数;24名

項目	件数等			
成年後見事業運営委員会の開催				
第1回;令和4年7月14日(木) 第2回;令和4年11月16日(水)	10名 10名			
市民後見人の養成				
● 実地研修の実施	17名・22回			
● フォローアップ研修の開催 第1回;令和4年8月9日(火) 第2回;令和4年9月6日(火) 第3回;令和4年2月3日(金) ※再掲 第4回;令和4年2月21日(火) ※再掲	参加者数;5名 参加者数;4名 参加者数;6名 参加者数;7名			
市民後見人養成講座説明会の開催				
御殿場会場	期日 令和4年9月1日(木)	参加者数;16名		
小山会場	期日 令和4年9月2日(金)	参加者数;6名		
市民後見人養成講座(第3期)の開催				
期日	令和4年10月6日(木)～12月22日(木) ※全11回			
会場	御殿場市民交流センターふじざくら			
修了者数	11名(御殿場市8、小山町3)			
市民後見人候補者名簿への登録及び同名簿の管理(登録者数)				
登録者数;2名				
家庭裁判所への市民後見人候補者の推薦(被推薦者数)				
被推薦者数;1名				
市民後見人への活動支援				
定期報告及び報告時の指導・助言等	実報告者数;4名			
活動内容の助言・指導等	1名・9回			
家庭裁判所への報告書類等の作成支援	1名・4回			
権利擁護に関する関係機関等との連携に基づく支援				
会議開催回数;5回				
法人後見業務実施法人への支援				
延相談回数;1回				
成年後見制度利用促進に伴う関係機関等との打合せ				
開催回数;5回				
静岡県成年後見制度利用促進協議会への出席				
出席回数;1回				
権利擁護支援センター職員対象の研修会への参加				
6回・8名				

#### イ 法人後見事業の実施

静岡家庭裁判所の選任を受け、認知症高齢者など意思決定が困難な人に対して、本会が成年後見人等となり、本人の判断能力を補い、安心して日常生活を送ることができるよう支援した。

[受任件数]

(単位;件)

計	類型内訳			後見等監督人 (補佐)	
	後見類型	補佐類型	補助類型		
受任件数	2	2	0	0	1
うち 新規受任	1	1	0	0	1
うち 受任終了	1	1	0	0	0

## ウ 日常生活自立支援事業の実施 【静岡県社会福祉協議会受託事業】

日常生活に不安のある高齢者や20歳以上の障害者(知的障害・精神障害)などの町民を対象とし、福祉サービスの利用に関する相談に応じ、サービスの選択や契約を支援した。また、料金の支払い、日常の金銭管理などできるだけ不安の少ない生活を送れるよう援助に努めた。

### ア) サービス内容

- ・福祉サービスの利用援助  
(利用手続きの援助、通知確認などの援助、利用料の支払いなど)
- ・日常的金銭管理  
(年金や手当の受領確認、生活費に要する預貯金の払戻しなど)
- ・書類等の預かりサービス  
(普通預金通帳、定期預金通帳、保険証書、不動産権利書、実印など)

### イ) 業務内容

- ・相談受付業務に関する事項
- ・利用契約締結の判断に関する事項
- ・利用契約締結(契約書一式の作成を含む)に関する事項
- ・支援計画に基づく援助に関する事項 他
- ・その他受託業務の遂行に必要な事項

### ウ) 実施体制

- ・専門員 2名(兼務)
- ・生活支援員 3名(専門研修修了者)

### エ) 相談等受理件数

計461件 (前年度比 109件 減)

問い合わせ件数	16件	前年度比 15件 増
認知症高齢者等	5	
知的障害者等	5	
精神障害者等	0	
その他	6	
初回相談件数	11	前年度比 3件 増
認知症高齢者等	5	
知的障害者等	2	
精神障害者等	0	
その他	4	
相談援助件数	434	前年度比 127件 減
認知症高齢者等	294	
知的障害者等	3	
精神障害者等	104	
その他	325	

### オ) 利用実績

実利用者数	6名	前年度比 増減なし
うち 書類預かりサービス実利用者数	6名	前年度比 増減なし
うち 新規契約利用者数	2名	前年度比 増減なし
うち 契約終了利用者数	1名	前年度比 1名減
日常的金銭管理サービス利用件数	延85件	前年度比 15件減

### カ) 契約締結審査会への出席

第1回	令和5年1月19日(木)
第2回	令和5年2月9日(木)

### 3 福祉の基盤づくりの推進

#### (1) 高齢者等への支援活動の推進

##### ア ふれあい茶論の開催(介護予防普及啓発事業)【小山町受託事業】

高齢者の介護予防と仲間づくり及び社会参加等をねらいとして開催した。

###### ア) 開催実績

開催回数	56回(前年度比 40回増)
運営協力者数	ふれあい茶論運営協力委員 16団体・129名
参加者数	延1,426名(前年度比 973名増)
協力者	民生委員児童委員、単位シニアクラブ役員、ボランティア 他

###### イ) ふれあい茶論運営協力委員連絡会の開催

第1回	令和4年10月24日(月)
第2回	令和5年3月7日(火)

##### イ 緊急通報体制整備事業の実施【小山町受託事業】

独居高齢者等による緊急時通報のための機器を設置することにより、安心安全な在宅生活の支援を行った。

###### ア) 設置機種

シルバーホンあんしんS(NTT社製)

###### イ) 対応業務

- ・事業の広報業務
- ・設置申込者に対する支援業務
- ・設置工事業者との工事日の調整業務
- ・設置時の立会に関する業務
- ・設置利用者に対する使用方法の説明業務
- ・消防本部や通報協力者との連絡調整等業務
- ・NTTに対する使用料支払いに関する業務
- ・長期入院や施設入所、死亡等による撤去時の立会に関する業務
- ・その他必要と認められる業務



###### ウ) 利用実績

実利用者数	42名	前年度比 7名減
うち 新規利用者数	0名	前年度比 5名減
うち 撤去利用者数	5名	前年度比 2名減
延利用件数	461名	前年度比 52名減

#### (2) サービスの提供力を高める

##### ア 住民参加型福祉サービス“オンライン・ユート”の実施

既存の社会保障や福祉制度では十分な対応ができない町民を対象とした有償の「住民参加型福祉サービス“オンライン・ユート”」を町内全地区で実施した。サービス運営体制や人材発掘等についての細部調整や広報活動をあわせて展開した。

###### ア) 登録会員数

利用会員 35名(男性10名・女性25名)

協力会員 18名(男性3名・女性15名)

###### イ) 利用実績

延利用回数	136回	前年度比 88回増
延利用時間数	36時間30分	前年度比 23時間45分増

#### イ 高齢者向け配食サービス“おまち堂”の実施 【小山町受託事業】

在宅高齢者に対して、栄養改善と見守りを兼ねた配食の提供により介護状態への進行の防止を図り、高齢者が地域において自立した日常生活を営めるよう支援するため、高齢者向け配食サービスを実施した。

##### ア) 事業内容

- ・高齢者の身体状況に応じたカロリーや食材の大きさや硬さに配慮した食事の調製
- ・利用者宅における直接手渡し方式による食事の配達
- ・配達時における利用者の健康状態や生活状況の確認及び異常時における連絡
- ・配達・見守りボランティアの意識向上と支援技術の習得を図るための研修会開催
- ・生活支援コーディネーターと連携した担い手の発掘 他

##### イ) 事業の実施主体等

[事業実施主体] 高齢者向け配食サービス“おまち堂”コンソーシアム  
[コンソーシアム構成員] 社会福祉法人小山町社会福祉協議会(代表法人)  
社会福祉法人寿康会

##### ウ) 登録状況

- [利用登録者数] 12名(男性2名・女性10名)  
[ボランティア申出者数] 6名(男性2名・女性4名)



##### エ) サービス提供実績

実利用者数	12名	前年度比 1名増
延利用件数	1,413件	前年度比 47件増－

##### ウ 社会福祉法人との連携による「県境エリア対象・移動販売事業」の実施・協力



業務提携先	社会福祉法人富岳会(移動販売車による)	
事業開始時期	平成31年3月から継続・拡大	
実施地区及び巡回会場	小山3区	正福寺駐車場
	小山4区	第1コミュニティ広場
	生土区	小野様宅駐車場
	湯船区	湯船公民館
	柳島区	柳島公民館

### (3) 社会福祉法人等との連携による地域課題解決に向けた取組

社会福祉法人・医療法人・財団法人・NPO法人・営利法人が運営する社会福祉施設や介護サービス事業所の連携・強化を図り、各法人のノウハウを生かして制度の狭間にあら地域課題の解決に向けた取り組みをすすめた。

#### ア おやま福祉介護アライアンス・ネットワーク会議 構成法人(全17法人)

法人種別	法人名(主な運営施設等)
社会福祉法人	ミルトス会(駿東学園) 寿康会(徳風園・平成の杜) 婦人の園(インマヌエル) 小山町社会福祉協議会(小山町社会福祉協議会)
公益社団法人	有隣厚生会(富士小山病院)
一般社団法人	心和(はあとデイサービスセンター)
医療法人社団	静寿会(おやまの杜) 沙羅(東富士病院)
社会医療法人	青虎会(菜の花の丘)
特定非営利活動法人	ワーカーズコーポ(わかば・そら) おでかけクラブ(大人の笑楽校)
株式会社	スルガケアサービス(アンビックおやま) グランドスラム(とう菜の里) 縁(訪問看護ステーション大きな木) 河村福祉サービス(静岡営業所) エス・ゴーニー(ふるさと俱楽部) ※ 8月末日 廃業
有限会社	アイティ介護サービス(アイティ介護サービス)

#### イ おやま福祉介護アライアンス・ネットワーク会議の開催

##### ア) 施設長・管理者研修会の開催

期日	令和4年7月20日(水)
会場	小山町健康福祉会館(含 オンライン型)
テーマ・講師	小規模法人のネットワーク化による協働の在り方を考える (講師; 静岡県社会福祉協議会 福祉企画部長 西村慎言氏)
参加者数	28名 (会場型9名、オンライン型19名)

##### イ) 令和5年度事業検討会の開催

期日	令和5年2月28日(火)
会場	小山町健康福祉会館
内容	・地域課題への対応 ・令和5年度における「おやま福祉介護アライアンス・ネットワーク会議」事業の検討
参加者数	8名 (町内社会福祉法人の理事長・施設長等)

#### (4) 社会福祉法人としての「地域における公益的な取組」の推進

##### ア 静岡県災害派遣福祉チーム(静岡DWAT)への登録及び活動の連携

大規模災害時に避難所などで福祉的配慮が必要な人を発見し支援する静岡DWATに本会職員を登録し、被災地における活動を支援する。静岡DWATは、社会福祉士等の有資格者で、研修修了者の中から1チーム5名程度で編成される福祉専門職チームである。

災害発生後、被災した県内外の市町村から静岡県に派遣要請があると、ネットワーク事務局(静岡県社協)がチームを編成して被災地へ派遣する。隊員は災害発生5日後から1か月後までの間ににおいて、指定された避難所や福祉避難所で支援活動を行うものである。

###### [被災地での主な活動内容]

・福祉的トリアージ、環境整備、移送支援、医療支援チーム等との連携 他

###### [登録者数]

1名(令和5年3月末現在)

活動実績	なし
------	----

##### イ 運転免許自主返納者等サポート事業への協力

本会では高齢ドライバーの交通事故防止対策と運転免許自主返納者等の生活支援を目的として、自主返納者等が運転経歴証明書を店舗などに提示することで、様々な特典やサービスを受けられる事業にサポート店として登録・協力を行った。

事業主体	静岡県警察本部
サービス内容	町民食堂ごちそうさん&カフェ・ポム共通利用券(100円×10枚分)の贈呈
利用実績	なし

##### ウ 福祉車両貸出事業及び福祉車両取扱講習の実施

在宅で生活する障がいのある人や要支援等高齢者が、公共交通機関を利用しづらい場所へ外出する場合に、介護者の負担軽減と利用者の生活範囲拡大を助長することを目的として福祉車両を貸し出す事業を実施した。

貸出用車両台数	軽自動車 1台(車椅子のまま乗車可能)	
利用料金	無料(車両燃料費は距離に応じて実費負担)	
取扱講習	新規登録時に個別講習を実施(登録は隨時受付)	
主要用途	医療機関等への通院、買い物 他	
利用実績	5回	前年度比 4件増

##### エ 車椅子短期無料貸出事業の実施

介護保険対象外サービスの一環として、要介護高齢者等や疾患による在宅生活を送る人たちの安心安全な環境を提供することを目的に、車椅子を無料で短期間の貸し出しを行った。

貸出車椅子保有台数	標準タイプ 8台	
延利用件数	56件	前年度比 45件減

##### オ 福祉おたすけグッズ(地域福祉活動用資機材)貸出事業の実施

本会会員である地域活動団体等が行う地域福祉活動の積極的な展開を支援するために、各種の活動用資器材を無料で貸し出しを行った。

機材等種類	ポップコーン機、綿菓子機、視聴覚機材、小型放送機材 他	
延利用件数	18件	前年度比 12件増

## 力 障害者週間啓発事業の共同開催



御殿場・小山障害者自立支援協議会主催の障害者週間啓発事業に対し、事業費の一部を負担するなど、啓発を図った。

[事業名] 障害者週間講演会

[期間] 令和4年12月3日(土)～9日(金)

[開催方法] YouTube配信

[講演テーマ] 地域と障害者の防災について

[視聴回数] 御殿場市危機管理課部分 113回再生

小山町危機管理局部分 99回再生

御殿場市社会福祉協議会部分 85回再生

## (5) 法人組織の基盤を強める

### ア 法人経営に関する各種会議

#### ア) 理事会の開催

法人の執行機関として、経営に関する意思を明確にすると共に、経営上の必要事項等を定め、各種事業に関する協議により法人の方向性を定めるなど、法人経営や事業展開に努めた。

第1回 定例理事会	期日	令和4年6月6日(月)
	会場	小山町健康福祉会館
	出席者数	11名(総数;14名)
	出席率	79%
	議題	<決議事項> 第1号議案 令和3年度一般会計資金収支補正予算(第4号)の承認 第2号議案 令和3年度事業報告書案の承認 第3号議案 令和3年度一般会計収支決算報告書案の承認 第4号議案 令和4年度一般会計資金収支補正予算(第1号)の承認 第5号議案 評議員選任候補者の推薦 第6号議案 理事選任候補者の推薦 第7号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任 第8号議案 令和4年度定時(第1回)評議員会の招集 第9号議案 経理規程の変更 第10号議案 障害者総合支援法に基づく小山町社会福祉協議会訪問介護事業所運営規程の変更  <報告事項> 第1号報告 会長及び常務理事の職務執行状況 第2号報告 令和4年度決算監査結果報告
	期日	令和4年9月5日(月)
	会場	小山町健康福祉会館
	出席者数	12名(総数;14名)
	出席率	86%
	議題	<決議事項> 第11号議案 副会長の選任 第12号議案 令和4年度一般会計資金収支補正予算(第2号)の承認  <報告事項> 第3号報告 会長及び常務理事の職務執行状況

第3回 定例理事会	期日	令和4年12月7日(水)
	会場	小山町健康福祉会館
	出席者数	14名(総数;14名)
	出席率	100%
	議題	<p>〈決議事項〉</p> <p>第13号議案 評議員選任候補者の推薦          第14号議案 理事選任候補者の推薦          第15号議案 監事選任候補者の推薦          第16号議案 令和4年度臨時(第2回)評議員会の招集          第17号議案 ワークホーム・アップル(就労継続支援B型事業)に係る安定的経営と事業継続のための運営方針(案)</p> <p>〈報告事項〉</p> <p>第4号報告 会長及び常務理事の職務執行状況          第5号報告 令和4年度定期監査結果報告          第6号報告 介護保険施設等(居宅介護支援)運営指導の受検結果</p>
第4回 定例理事会	期日	令和5年3月6日(月)
	会場	小山町健康福祉会館
	出席者数	13名(総数;15名)
	出席率	87%
	議題	<p>〈決議事項〉</p> <p>第18号議案 副会長の選任          第19号議案 令和4年度一般会計収支補正予算(第3号)の承認          第20号議案 第1次中期経営計画の承認          第21号議案 令和4年度臨時(第3回)評議員会の招集          第22号議案 権利擁護支援センター長の任免          その他 令和5年度主要事業及び事業活動収入等に係る事前協議</p> <p>〈報告事項〉</p> <p>第7号報告 会長及び常務理事の職務執行状況</p>
第5回 定例理事会	期日	令和5年3月24日(金)
	会場	小山町健康福祉会館
	出席者数	13名(総数;15名)
	出席率	87%
	議題	<p>〈決議事項〉</p> <p>第23号議案 令和5年度役員等賠償責任保険契約の承認          第24号議案 令和5年度事業計画案の承認          第25号議案 令和5年度一般会計資金収支予算案の承認          第26号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任          第27号議案 理事選任候補者の推薦</p>

【理事会出席率】 平均出席率 88%(前年度比 3ポイント増)

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
79%	86%	100%	87%	87%

イ) 監事会の開催

会計業務及び理事の業務執行状況及び法人の財産の状況や事業等の監査に努めた。

第1回監事會 (決算監査)	期日	令和4年5月24日(火)
	会場	小山町健康福祉会館
第2回監事會 (定期監査)	期日	令和4年10月28日(金)
	会場	小山町健康福祉会館

ウ) 評議員会の開催

法人経営上の重要な事項の議決機関として、理事・監事の選解任、事業計画・事業報告及び予算(補正予算を含む)・決算の承認等の重要な案件を審議した。

第1回 定時評議員会	期日	令和4年6月22日(水)
	会場	小山町健康福祉会館
	出席者数	19名(総数;21名)
	出席率	90%
	議題	〈決議事項〉 第1号議案 令和3年度一般会計資金収支補正予算(第4号)の承認 第2号議案 令和3年度事業報告書案の承認 第3号議案 令和3年度一般会計収支決算報告書案の承認 第4号議案 令和4年度一般会計資金収支補正予算(第1号)の承認 第5号議案 理事の選任 〈報告事項〉 第1号報告 令和4年度決算監査結果報告 第2号報告 第11回評議員選任解任委員会の開催結果報告
第2回 臨時評議員会	期日	令和4年12月23日(金)
	会場	小山町健康福祉会館
	出席者数	19名(総数;21名)
	出席率	90%
	議題	〈決議事項〉 第6号議案 令和4年度一般会計資金収支補正予算(第2号)の承認 第7号議案 理事の選任 第8号議案 監事の選任 第9号議案 ワークホーム・アップル(就労継続支援B型事業)に係る 安定的経営と事業継続のための運営方針(案) 〈報告事項〉 第3号報告 令和4年度定期監査結果報告 第4号報告 第12回評議員選任解任委員会の開催結果報告

第3回 臨時評議員会	期日	令和5年3月28日(火)
	会場	小山町健康福祉会館
	出席者数	20名(総数;21名)
	出席率	95%
	議題	〈決議事項〉 第10号議案 令和4年度一般会計資金収支補正予算(第3号)の承認 第11号議案 第1次中期経営計画の承認 第12号議案 令和5年度事業計画案の承認 第13号議案 令和5年度一般会計資金収支予算案の承認 第14号議案 理事の選任

【評議員会出席率】 平均出席率 92%(前年度比 16ポイント増)

第1回	第2回	第3回
90%	90%	95%

#### 工) 評議員選任・解任委員会の開催

第11回 評議員選任・ 解任委員会	期日	令和4年6月14日(火)
	会場	小山町健康福祉会館
	出席者数	5名(総数;5名)
	議題	〈決議事項〉 第11号議案 評議員の選任
第12回 評議員選任・ 解任委員会	期日	令和4年12月9日(金)
	会場	小山町健康福祉会館
	出席者数	5名(総数;5名)
	議題	〈決議事項〉 第12号議案 評議員の選任

#### オ) 部門責任者会議の開催

回	期　日	出席者数
1	令和4年10月4日(火)	5名
2	令和4年11月15日(火)	6名

#### イ 公益通報者保護体制の整備

公益通報者保護法を踏まえ、本会が法令を遵守した経営への取り組みを強化していくために、本会役職員や関連事業者からの通報受理等を行う外部通報窓口を設置した。(本会役職員や委託業者等からの内部告発を受け付けるための窓口のこと)をいう。)

委託先	あかまつ司法書士事務所(所在地;沼津市下河原町3-9-10)
委託内容	本会職員や関連業者からの通報受理・調査実施等
委託料等	通報受理・調査実績に応じた委託料、調査に要した旅費交通費
通報受理件数	0件

## ウ 苦情解決体制の整備

本会のサービス事業等についての要望や苦情に対して適切に対応することで、利用者のサービスに対する満足度を高めるとともに、利用者個人の権利を擁護しながら社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で、円滑で円満な問題の解決を図った。

苦情解決関係者の配置		苦情解決責任者(事務局長) 苦情受付担当者(3名) 第三者委員(2名)										
苦情解決委員会の開催		期日	令和5年3月15日(水)									
		出席者	7名									
苦情申し立て等の受付対応実績		0件										
		内 容										
		職員接遇	サービスの質や量	利用料	説明・情報提供	被害・損失	権利侵害	その他	計			
居宅介護支援		0	0	0	0	0	0	0	0			
訪問介護		0	0	0	0	0	0	0	0			
就労継続支援B型		0	0	0	0	0	0	0	0			

## エ 第5次小山町地域福祉活動計画の進行管理

第4次小山町地域福祉計画(町行政)との合同による進行管理を行った。

計画推進期間	令和2~6年度(5か年)
計画推進懇談会の開催	令和5年2月2日(木) ※ 書面開催

## オ 介護サービス等利用満足度調査の実施

本会の介護保険サービスや障害福祉サービスの利用者を対象として、本会独自の定期的な利用満足度調査を実施し、サービスの質の向上に努めた。なお、本調査は調査項目の設計、調査結果の分析は部門責任者会議等で検討協議のうえ、本会ホームページで公表した(公表開始;令和5年2月1日)。

事業別	調査票配布件数	調査票回収件数	回収率	満足度(とても満足の割合)
居宅介護支援	74	61	82%	74%
訪問介護	26	16	62%	69%
居宅介護	4	2	50%	100%
就労継続支援B型	10	10	100%	30%
計	114	89	78%	68%

## カ 職員満足度調査の実施

本会の中期経営計画策定の基礎資料とするため、職員満足度調査を実施した。

協力依頼数	20件
回収数	20件
回答率	100%

## キ 第1次中期経営計画の策定

本会が中期的に目指すあり方と現在置かれている状況とのギャップを埋め、経営理念を実現するための計画を策定した。

計画推進期間	令和5～7年度(3か年)	
策定委員会の開催	第1回	令和4年12月7日(水)
	第2回	令和5年2月20日(月)

## ク 役職員の資質向上

地域福祉の推進を担う役職員の資質向上を目指し、研修計画に基づいた研修事業を実施した。また、広範囲になっていく福祉関連事業に対応していくために職員への資格取得の機会を促し、専門職集団としての、より質の高い相談支援やサービス提供に努めた。

### ア) 職員内部研修会の開催

区分	回	期日	参加者数
訪問介護事業	第1回	令和4年5月31日(火)	9名
	第2回	令和4年7月29日(金)	9名
	第3回	令和4年9月30日(金)	8名
	第4回	令和4年11月30日(水)	9名
	第5回	令和5年1月31日(火)	9名
	第6回	令和5年3月31日(金)	9名

### イ) 全職員の福祉関係資格取得を目指した支援

個別面談や関係会議等の機会を通じて、支援に関する情報提供を行うとともに、休暇取得等について配慮するなど、自己啓発や資格取得に対する意識の高揚を図った。

支援実績	実績なし
------	------

### ウ) 職員を対象とした通信教育等受講料助成事業の実施

「職員の通信教育講座等研修受講に関する規程」に基づく助成事業の周知を図った。

助成申請受付件数	実績なし
助成決定件数	実績なし

### エ) 外部研修会等への参加促進

対象区分	研修名(参加者数)
役員	・市町社協監事研修会(2) ・社会福祉法人経営セミナー(1) ・安全運転管理者講習(1)
法人本部・地域福祉推進事業部門	・社会福祉主事資格認定通信課程(1) ・防災サミット(1) ・決算実務研修会(1) ・市町社協新任職員研修会(1) ・ミドルマネジメント研修会(1) ・生活支援コーディネーター養成研修(1) ・全国福祉教育推進員研修(1) ・静岡県地域福祉教育推進セミナー(1) ・地域づくり人材養成研修(1) ・生活支援コーディネーター情報交換(1) ・市町社協総務担当者研修会(1)

対象区分	研修名(参加者数)
権利擁護支援センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災サミット(1)</li> <li>・ファシリテーション講座(1)</li> <li>・社協相談支援事業従事者基礎研修(1)</li> <li>・社会福祉士実習指導者FU研修(1)</li> <li>・市町長申立に係る実務研修(2)</li> <li>・市町村職員等対象セミナー(2)</li> <li>・成年後見制度意思決定支援研修(1)</li> <li>・市町社協ミドルマネジメント研修会(1)</li> <li>・ひきこもり支援従事者養成研修(1)</li> <li>・借受人支援と家計相談セミナー(2)</li> <li>・権利擁護支援シンポジウム(2)</li> <li>・福祉関係者向け任意後見基礎知識(2)</li> <li>・生活困窮者自立相談支援研修(1)</li> <li>・成年後見制度利用促進セミナー(2)</li> <li>・地域づくりフォーラム(2)</li> <li>・ネットワークセミナー(1)</li> <li>・成年後見制度活用セミナー(1)</li> <li>・包括的支援体制と地域共生社会研修(1)</li> </ul>
居宅介護支援事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミドルマネジメント研修会(1)</li> <li>・個別避難計画研修会(1)</li> <li>・介護予防ケアマネジメント現任研修(2)</li> <li>・認定調査員現任研修(2)</li> </ul>
訪問介護事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町社協新任職員研修会(1)</li> <li>・ミドルマネジメント研修会(1)</li> <li>・障害者虐待防止・権利擁護研修(1)</li> <li>・安全運転実技講習会(1)</li> </ul>
ワークホーム・アップル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミドルマネジメント研修会(1)</li> </ul>

#### ヶ 働き方改革の推進及び労務管理体制の推進

町民の生活課題や福祉ニーズに合わせ、新たな業務増が見込まれるなかで、適正な労務管理・人事管理体制の確立を図るとともに、「年次有給休暇の計画的付与制度(計画年休)」とあわせて、「副業・兼業促進制度」など本会独自の働き方改革を積極的に推進した。また、質の高いサービス提供、従業員のより良い職場環境の整備や今後の雇用管理改善を図った。

ア) 年次有給休暇取得状況(常勤職員のみ掲載) ※ 曆年で算出

年間付与日数	20日間(前期繰越分を除く)
平均取得日数	11.3日
平均取得率	56.5%

イ) 年次有給休暇取得状況の推移

	年間付与日数	平均取得日数	平均取得率
令和 元年	20	15.8	79.0
2年	20	13.3	66.5
3年	20	11.6	58.0

【参考データ】 <厚生労働省「令和2年就労条件総合調査の概要(令和元年度実績データ)」より>

[年次有給休暇平均取得日数・取得率等]

区分	取得日数	取得率
全産業	10.1日	56.3%
福祉・医療	8.9	53.4
2025年(令和7年)までの達成目標		70.0

ウ) 副業・兼業促進制度の活用状況

申請件数	7件	【正規】3 【再雇用】2 【契約】2
うち 許可件数	7	
主な申請理由	スキルアップのため	

エ) 職員互助会に対する研修事業費助成

助成実績	0件 (該当事業なし)
------	-------------

オ) 駿東勤労者福祉サービスセンター(ベネフィ駿東)への加入等

[加入者数] 22名

[活用実績] (法人本部経由での申請・活用分のみ)

慶弔給付金	8件
会員の勤続(満10年)	1
会員の銀婚(25周年)	1
会員の珊瑚婚(35周年)	1
会員の結婚	1
会員の還暦(60歳)	1
傷病見舞金(会員)	1
死亡保険金(親)	2

コ 「組織の健全化」及び「職員の健康意識向上」に向けた取組の推進  
 ア) 職員健康診断の実施

基本健診	期日	令和4年8月8日(月)～9日(火)
	対象者数	22名
	受診者数	22名(含 他機関等受診者5名)
	受診率	100%
	有所見者数	13名
結核・肺がん検診	期日	令和4年8月8日(月)～9日(火)
	対象者数	22名
	受診者数	22名(含 他機関等受診者)
	受診率	100%
	有所見者数	0名
胃部レントゲン検査	期日	令和4年8月1日(月)～2日(火)
	対象者数	19名
	受診者数	19名(含 他機関等受診予定者2名)
	受診率	100%
	有所見者数	0名
腰痛検査	期日	令和5年1月31日(火)～2月2日(木)
	対象者数	9名
	受診者数	9名
	受診率	100%
	有所見者数	0名

イ) スマートフォン無料アプリを活用した健康管理

アプリ名等	グッピーヘルスケア(株式会社グッピーズ)
導入年月日	令和3年6月1日(火)

ウ) 「ふじのくに健康づくり推進事業所宣言」の認定

認定区分	ホワイト事業所(1・2年目)
認定年月日	令和3年9月29日(水)
宣言内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の健診 100%実施を目指します</li> <li>・保健指導の実施率 50%以上を目指します</li> <li>・要再検査・要治療者への受診勧奨に努めます</li> <li>・生活習慣の改善に取り組みます</li> </ul>

サ 職員の安全運行管理体制の充実

ア) 全業務用車両へのドライブレコーダーの活用

設置済み台数	10台(保有台数:10台)
主な活用方法	運転指導、事故調査協力等

イ) 職員のアルコールチェックの実施

対象者等	全職員(アルコールチェック器を貸与)
実施日等	全勤務日の出勤時・退勤時

ウ) 職員の交通事故発生状況の把握

対象事故	職員の起因する人身交通事故
報告件数	0件

エ) 御殿場地区安全運転管理協会への重大事故の報告

重大事故の定義	死亡事故、酒気帯び運転、無免許運転、薬物等運転 ひき逃げ事故
報告件数	0件

オ) 運転免許証等の所持状況の定期確認

運転免許証や身分証明書の所持状況や更新期限等について現物確認を行うことにより適正な携帯と毀損・紛失防止に努めた。

対象者	全職員(含 非常勤契約職員)
確認頻度	四半期に1回(年4回以上実施／実施日は不定期)

[実施実績]

回	期間	対象者数	結果
第1回	令和4年7月11日(月)～22日(金)	24名	異常なし
第2回	令和4年9月26日(月)～10月7日(金)	23名	異常なし
第3回	令和5年1月19日(木)～30日(月)	24名	異常なし
第4回	令和5年3月7日(火)～20日(月)	21名	異常なし

シ) 職員の採用及び退職

年度内における職員の採用及び退職の状況については下記のとおりである。

ア) 職員の採用

【契約職員】 職業指導員 1名

イ) 職員の退職

【契約職員】 職業指導員 2名

ウ) 職員数の推移

事務局長	正規職員					契約職員				再雇用職員				合計			
	法人本部・地域福祉推進事業部門	法人本部・地域福祉推進事業部門	権利擁護支援センター	権利擁護支援センター	居宅介護支援事業所	居宅介護支援事業所	訪問介護事業所	訪問介護事業所	法人本部・地域福祉推進事業部門	法人本部・地域福祉推進事業部門	権利擁護支援センター	居宅介護支援事業所	訪問介護事業所	ワークホーム・アップル			
年度初	1	2	1	2	1	2	1	4	0	8	2	0	1	0	0	1	26
年度末	1	3	1	2	2	2	0	6	0	7	1	0	1	0	0	1	27

## ス 小山町行政や関連機関等との連携強化

本会における適正な法人経営及び時代の潮流に対応した先駆的事業展開に資することを目的として、小山町行政等との日常的な連携強化を図り、積極的な提言活動を行った。

ア) 小山町健康福祉会館指定管理連絡調整会議への出席

[出席回数] 4回

イ) 小山町健康福祉会館消防訓練への参加

第1回	期　　日	令和4年8月8日(月)
	訓　練 内 容	火災通報装置による通報訓練、消火訓練
	本会参加者数	8名

## セ 静岡県社会福祉協議会との連携強化

本会における適正な法人経営及び先駆的事業展開に資することを目的として、日常的な連携強化を図り、積極的な提言活動を行った。

## (6) 安定した自主財源の確保

### ア 会員会費の拡充

住民に社会福祉協議会の活動等を広く理解してもらうとともに、効果的かつ先駆的な地域福祉活動を展開していくための基盤強化のため、本会関係者や区長会等の協力を得ながら、会員拡充と財源確保に努めた。(7月を会員増強月間とし運動を展開した。)

ア) 普通会員

- ・区長会を通じた世帯会員の募集・とりまとめ
- ・福祉施設や福祉活動団体に対する加入依頼

[加入実績]

世　　帯	5,738世帯	前年度比 123世帯 増
社会福祉法人・福祉団体 及びボランティア団体	30団体	前年度比 1団体 減

イ) 賛助会員

- ・役員等(役員及び事務局職員)による事業所等賛助会員加入依頼訪問活動  
[期日] 令和4年7月6日(水)～14日(木) 計5日間
- ・個人賛助会員に対する郵送での個別協力依頼

[加入実績]

個　　人	104名	前年度比 30名 減
事業所等	133事業所	前年度比 11事業所等 減

### イ 共同募金運動への積極的協力と配分金の有効活用

社会福祉法人静岡県共同募金会(小山町共同募金委員会)及び区長会や民生委員児童委員協議会と連携し、共同募金運動の促進を図るとともに、配分金の効果的な活用に努めた。

赤い羽根共同募金運動（一般募金）	令和4年10月1日～12月31日
歳末たすけあい募金運動（歳末募金）	令和4年12月1日～31日

### ウ リサイクル活動の展開

町民等から寄せられる下記物品の回収及び換金により自主財源の確保につなげた。

(就労支援事業におけるリサイクル事業を除く)

[回収品目] プルタブ、使用済み切手、未使用切手、未使用官製ハガキ 他

## (1) 居宅介護支援事業の経営

利用者が住み慣れた居宅において、安心して生活できるように総合的に福祉サービスを調整して支援に努めた。

## ア 事業所の名称

小山町社会福祉協議会 居宅介護支援事業所

## イ 従業者数(令和5年3月末時点)

- ・管理者(兼 介護支援専門員) 常勤 1名
- ・副管理者(兼 介護支援専門員) 常勤 1名

## ウ 業務内容

- ・毎月訪問、モニタリング、アセスメント、ケアプラン作成
- ・サービス担当者会議や内部会議の開催
- ・介護予防プランの作成(小山町地域包括支援センター「平成の杜」受託事業)
- ・要介護認定調査の受託実施(小山町、その他市町村等)
- ・介護サービス情報公表の対応
- ・介護相談

## エ 介護度別居宅介護支援費提出実績

要介護1	347件	前年度比12件 増
要介護2	204	前年度比 4件 増
要介護3	113	前年度比23件 減
要介護4	125	前年度比33件 増
要介護5	85	前年度比11件 減
計	874	前年度比15件 増

## オ 介護度別介護予防サービス計画提出実績【小山町地域包括支援センター受託事業】

要支援1	55件	前年度比 20件 増
要支援2	70	前年度比 13件 減
計	125	前年度比 6件 増

## カ 要介護認定調査の実施【小山町及びその他市区町村受託事業】

受託件数 95件 (前年度比 33件 増)

都道府県名	市区町村名等	件 数	
		計	小計
静岡県	小山町	79	85
	沼津市	4	
	熱海市	1	
	静岡市	1	
福島県	白河市	1	1
東京都	中央区	1	2
	練馬区	1	
埼玉県	越谷市	1	1
神奈川県	二宮町	1	2
	横浜市磯子区	1	
山梨県	富士吉田市	1	2
	山中湖村	1	
長野県	諏訪広域連合	1	1
福岡県	福岡市	1	1
合 計		95	

## (2) 訪問介護事業の経営

居宅で生活する高齢者が要介護状態又は要支援状態であっても、食事・排泄・入浴の介護、その他の日常生活にわたる援助を行うことにより、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を送ることができるよう支援した。

### ア 事業所の名称

小山町社会福祉協議会 訪問介護事業所

### イ 従業者数(令和5年3月末時点)

- ・管理者(兼 ホームヘルパー) 常勤1名
- ・サービス提供責任者(兼 ホームヘルパー) 常勤1名
- ・ホームヘルパー 非常勤7名

### ウ 実施事業

- ・訪問介護事業
- ・総合事業第1号 訪問介護相当サービス事業
- ・総合事業第1号 訪問型サービスA事業

### エ 業務内容

- ・ケアプランに沿ったサービス提供
- ・サービス担当者会議への出席
- ・関係機関との連絡調整による利用者支援
- ・介護サービス情報公表の対応
- ・従事者の知識・技術向上によるサービスの質の確保(研修計画による)

### オ 介護度別請求実績

事業 対象 者	介 護 度 别							
	要 支 援 1	要 支 援 2	要 介 護 1	要 介 護 2	要 介 護 3	要 介 護 4	要 介 護 5	
延利用者数	19	61	79	132	79	30	8	3
延411名							(前年度比 65名 増)	
延利用件数	延3,820件							(前年度比 541件 減)

### カ 訪問介護事業・サービス検討会の開催

回	期日	参加者数
第1回	令和4年5月31日(火)	9名
第2回	令和4年7月29日(金)	9名
第3回	令和4年9月30日(金)	8名
第4回	令和4年11月30日(水)	9名
第5回	令和5年1月31日(火)	9名
第6回	令和5年3月31日(金)	9名

## 5 指定障害福祉サービス事業の経営

### (1) 居宅介護事業の経営

身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児、難病等対象者が在宅で安心して暮らすことができるよう入浴、排泄、食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事、生活等に関する相談及び助言並びにその他の日常生活における援助を行った。なお、事業所名、従事者数、業務内容は、訪問介護事業と同様である。

#### 【サービス提供実績】

実利用者数	6名	前年度比 2名 増
延訪問回数	221回	前年度比 16回 増
延訪問時間数	221.75時間	前年度比 18.25時間 増

### (2) 就労継続支援B型事業の経営

障がいのある人に対し、就労や生産活動の機会を提供した。また、作業だけでなく、職業習慣の確立、マナー、挨拶、身だしなみなどの訓練コミュニケーションの確立に向けての支援を行った。なお、作業収入から必要経費を控除した額を工賃として利用者に支給している。

#### ア 事業所の名称

ワークホーム・アップル(所在地;小山町菅沼253-1)

#### イ 従業者数(令和5年3月末時点)

・施設長(兼 統括地域福祉プロデューサー)	1名(非常勤)
・施設長代理(兼 職業指導員)	1名(常勤)
・サービス管理責任者	1名(常勤)
・生活支援員	1名(常勤)
・職業指導員	1名(非常勤)

#### ウ 利用定員

20名

#### エ 利用実人数

11名 (前年度比 増減なし)

内 訳	居住地別	小 山 町	10名	男性	5名
				女性	5名
		御殿場市	1名	男性	1名
				女性	0名

#### オ 事業内容

- ・自主事業(クッキー、ケーキ、縫製品等)
- ・受託事業
- ・自動販売機事業(小山町健康福祉会館2基)
- ・リサイクル事業
- ・喫茶事業(サテライト施設「カフェ・ポム」/小山町役場本庁1階)
- ・食堂事業(サテライト施設「町民食堂ごちそうさん」/小山町役場本庁地階)

#### カ 利用実績

開所日数	233日	前年度比 5日 増
延利用者数	2,135名	前年度比 102名 減
平均利用率	92.3%	前年度比 2.6ポイント 増
月額平均工賃	23,325円	前年度比 194円 増

## 6 その他

### (1) 行政関係機関による監査及び運営指導等の受検

静岡県等の行政関係機関による監査及び実地指導を受検し、助言指導等受検結果については、理事会の席上において報告するとともに、早急に改善するなどの措置を講じ、本会の経営改善や適正な事業展開に反映させた。

#### ア 介護保険施設等及び障害福祉サービス事業者等運営指導の受検

区分	介護保険施設等運営指導(小山町)
対象事業	居宅介護支援事業
期日	令和4年11月17日(木)
指摘等件数	指摘事項 0件、助言事項 1件

#### イ 社会福祉法人指導監査の受検

(実績なし)

### (2) 各種団体等との共催・後援・協賛事業の展開

区分	共催
事業名	ヤングケアラー支援者向け勉強会
主催者	一般社団法人ルミナス
期日	令和5年3月14日(火)
会場	小山町健康福祉会館
参加者数	38名(民生委員児童委員30、関係者8)

### (3) 各種表彰候補者推薦事務の実施

小山町内における地域福祉活動に功労のあった人を表彰し、その功を讃え、労をねぎらい、もって地域福祉の進展に資することを目的として各種表彰候補者の推薦を行った。

小山町社会福祉協議会 会長表彰	
推薦件数(決定件数も同じ)	30名・4団体
民生委員児童委員功労	1名
社会福祉法人役員、社会福祉施設・事業所・従事者功労	21名
社会福祉関係団体役員功労	3名
社会福祉事業に対する金品寄附感謝状	5名・4団体
静岡県社会福祉協議会 会長表彰	
推薦件数(決定件数も同じ)	2名
社会福祉施設・事業所・従事者功労	2名
全国社会福祉協議会会长表彰	
推薦件数(決定件数も同じ)	1名
社会福祉施設従事者功労	1名
静岡県知事表彰	
推薦件数(決定件数も同じ)	3名
社会福祉法人役員功労	1名
社会福祉施設従事者功労	2名

### 御殿場地区安全運転管理協会 会長表彰

推薦件数	2名
優良安全運転管理者(会長単名表彰)	2名
決定件数	2名
推薦件数と同じ	
静岡県作業所連合会・わ 会長表彰	
推薦件数	3名
永年勤続利用者(30年)	3名
決定件数	3名
推薦件数と同じ	

### (4) 各種研修会講師等としての役職員派遣の実施

県内外の関係団体が主催する研修事業の講師や事例提供者等として本会役職員を派遣し、ネットワークの拡充・強化を図った。

[派遣実績]

#### 小山町民生委員児童委員協議会 成美地区会 研修会

期日	令和5年1月16日(月)
会場	小山町健康福祉会館
参加者数	11名(成美地区 民生委員児童委員)

### (5) 県内外からの視察・研修の受け入れ

本会及び小山町内の地域福祉活動などについて、希望のテーマをもとに実践事例を提供するなど、受入要領を定めたうえで、県内外の社会福祉協議会や福祉関係団体からの視察・研修の受け入れを積極的に行つた。

[受入実績] なし

### (6) 関係機関・団体との連携による提言活動

#### ア 各種委員等就任

ア) 臼井 光昭(会長)

小山町総合計画審議会 委員  
 小山町地域公共交通会議 委員  
 小山町要保護準要保護児童対策地域協議会 委員(委員長)  
 小山町まち・ひと・しごと創生会議 委員  
 社会を明るくする運動小山町推進委員会 委員  
 小山町空家対策協議会 委員  
 小山町地域福祉計画推進懇談会 構成員  
 小山町障害者計画等推進懇談会 構成員(副会長)  
 小山町民生委員推せん会 委員(委員長)

イ) 原 秀人(常務理事・事務局長)

静岡県社会福祉協議会 企画調査委員会 委員  
 静岡県社会福祉協議会 地域における公益的な取組推進部会 委員  
 小山町介護保険等総合会議 委員  
 小山町地域包括支援センター運営委員会 委員  
 小山町福祉有償運送運営協議会 委員  
 小山町社会教育委員  
 小山町生涯学習推進委員会 委員  
 小山町介護予防・生活支援体制整備事業第1層協議体 委員(委員長)

- ウ) 松田直樹(統括地域福祉プロデューサー)  
全国健康保険協会静岡支部健康保険委員
- 工) 芹澤真澄(権利擁護支援センター長)  
静岡県市町社会福祉協議会連絡協議会相談事業部会 幹事
- オ) 五十井真琴(日常生活自立支援事業専門員)  
御殿場・小山フードバンク協議会 構成員  
小山町スポーツ振興審議会 委員
- カ) 遠藤千代子(ワークホーム・アップル 施設長)  
静岡県立御殿場特別支援学校 学校運営協議会委員
- キ) 勝俣千春(ワークホーム・アップル サービス管理責任者)  
小山町障害支援区分判定審査会 委員

**イ 小山町議会文教厚生委員会との意見交換会の開催**

期日	令和4年9月15日(木)
会場	小山町総合文化会館
出席者数	14名(町議6名、本会役職員6名、町行政2名)

小山町社会福祉協議会は  
社会福祉法人としての「地域における公益的な取組」を行っています。  
(再掲)

- ① 静岡県災害派遣福祉チーム(静岡DWAT)への登録及び活動の連携
- ② 運転免許自主返納者等サポート事業への協力
- ③ 福祉車両貸出事業及び福祉車両取扱講習の実施
- ④ 車椅子短期無料貸出事業の実施
- ⑤ 福祉おたすけグッズ(地域福祉活動用資機材)貸出事業の実施
- ⑥ 福祉系大学や専門学校学生等実習生の受け入れ
- ⑦ 中学生職場体験学習の受け入れ
- ⑧ 生活困窮世帯等を対象とする緊急食糧支援事業の実施
- ⑨ 「小山町みんなの食堂」お弁当配布事業の連携実施
- ⑩ 法人後見事業の実施
- ⑪ 宅老所「ひだまり」の運営
- ⑫ 住民参加型福祉サービス“オンリー・ユード”の実施
- ⑬ 高齢者向け配食サービス“おまち堂”的実施
- ⑭ 「おやま健康マイレージ事業」への協賛
- ⑮ おやま福祉介護アライアンス・ネットワーク会議の開催
- ⑯ 施設経営法人との連携による「県境エリア対象・移動販売事業」の実施



